

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日
平成 31 年 4 月 22 日

| | | | | | | | | | |
|--------------------------------|----|---------------|----|-----------------------|----|-----------------------------|-----------|---------------|--------------|
| 事務事業名 | | いこいの家管理事業 | | | | 事業区分 | | 担当 | |
| | | 政策体系上の位置付け | | | | 新規/継続 | 継続 | 事務事業No. | 010601000009 |
| | | 総合計画の施策名 | | | | 単独/補助 | 単独 | 所属課 | 040501 |
| | | 0106 高齢者福祉の推進 | | | | 主要事業 | | 高齢福祉課 | |
| 政策体系 | | 政策名 | 01 | 子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり | | 市長マニフェスト | | | |
| | | 施策名 | 06 | 高齢者福祉の推進 | | 未来PJ事業 | | グループ 高齢福祉グループ | |
| | | 手段名 | 01 | ①高齢者の生きがいづくりの推進 | | 合併建設計画事業 | | | |
| | | 財務会計上の位置付け | | | | 事業期間 | | | |
| 予算科目 | 会計 | 款 | 項 | 目 | 事業 | 細 | 一般会計 | | |
| | 01 | 03 | 01 | 12 | 02 | 00 | いこいの家管理事業 | | |
| | | | | | | 単年度繰返し (年度~) | | | |
| | | | | | | ← 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 | | | |
| 法令根拠 桜川市いこいの家設置及び管理等に関する条例施行規則 | | | | | | | | | |

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

| | |
|--|--|
| (1) 事務事業の概要 | |
| ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) | ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 |
| <p>いこいの家は、高齢者の心身の保持・増進及び教養の向上を図る等、高齢福祉の増進に資することを目的として、大和庁舎北側に位置する木造平屋の建物です。施設の設置当初は公衆浴場設備がありましたが、現在は設備の老朽化により廃止しています。</p> <p>利用者は高齢者の団体や、市が実施する介護予防教室等の高齢者施策事業に利用されておりましたが、設備機器等の老朽化と立地条件による利用者の減少などにより、平成29年度、設置条例の廃止を行い、施設利用の停止をしております。</p> <p>なお、平成30年度に建物の取り壊しを行う計画です。</p> <p>【施設概要】 和室1：1.6畳、和室2：1.6畳、和室：8畳、事務室、調理室など</p> | <p>【担当が行う業務の内容】</p> <p>～平成29年度 施設管理委託契約事務、委託費の支払、施設管理費の支払 平成30年度 建物の取り壊し工事の発注、現場管理など</p> |

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

| ①手段 (担当者の活動内容) | ④活動指標 (活動量を表す指標) | 単位 | 29年度 | 30年度 | 01年度 | 02年度 | 03年度 |
|---|---------------------------|----|-----------|-----------|------|------|------|
| | | | (実績) | (実績) | (計画) | (目標) | (目標) |
| 施設利用申請書の受付許可事務、施設管理委託契約事務、委託費の支払、施設管理費の支払 | 申請件数 | 件 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| ②対象 (誰、何を対象にしているのか) | ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) | 単位 | 29年度 | 30年度 | 01年度 | 02年度 | 03年度 |
| 65歳以上の高齢者 | 高齢者人口 (65歳以上) | 人 | 13,000.00 | 13,100.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか) | ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) | 単位 | 29年度 | 30年度 | 01年度 | 02年度 | 03年度 |
| 閉じこもり防止と健康増進を図る。 | 利用者数 | 人 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |
| | | | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 | 0.00 |

(3) 投入量 (事業費) の推移

| 投入量 | 事業費 | 財源内訳 | 29年度 (実績) | 30年度 (実績) | 01年度 (計画) | 期間限定総投入量 |
|-----|----------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|
| | | | | | | |
| | | 国庫支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 県支出金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 地方債 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 使用料・手数料 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 一般財源 | 159 | 6,096 | 0 | 0 |
| | | 事業費計 (A) | 159 | 6,096 | 0 | 0 |
| | 正規職員従事人数 | 人 | 1.00人 | 1.00人 | 0.00人 | |

| 事業費の内訳 | 30年度事業費 実績 (千円) | | | 01年度事業費 予算 (千円) | | |
|--------|-----------------|--------|----------|-----------------|--|---|
| | 11 需用費 | 12 役員費 | 15 工事請負費 | | | |
| | 9 | 77 | 6,010 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | 合計 | | 6,096 | 合計 | | 0 |

| | | | |
|--|-----------|-----------|-----------|
| (4) 当該年度の実施内容 | 01年度の事業内容 | 02年度の事業内容 | 03年度の事業内容 |
| <p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業 | | | |

| | | | | | |
|-------|-----------|---------|-------------|-----|-------|
| 事務事業名 | いこいの家管理事業 | 事務事業No. | 10601000009 | 所属課 | 高齢福祉課 |
|-------|-----------|---------|-------------|-----|-------|

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

| |
|--|
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成23年度末でシルバー人材センター大和支所の事務所が撤退、平成24年度末でデマンドタクシーの事務所が撤退した。 現在は通常無人となっており、利用がある場合のみ開錠して使用してもらった状況であったが、平成29年度条例を廃止し、利用を停止している。 |
| (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 「利用が少なくもったいない。高齢者施設としてではなく行政として他の用途で利用すべきではないか。」という声がある一方で、「利用がないのであれば施設維持経費がもったいないから取り壊すべきではないか?」といった意見も出されているが、今後の維持費を推測すると、対費用効果が得られないと判断されている。 |
| (7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 廃止 |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

| 評価項目 | |
|-----------|--|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 高齢者の交流の場の提供を目的としているが、急傾斜と段差のある敷地条件から高齢者の利用は避けられている傾向にある。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市内に在住する高齢者の生きがいづくりや交流等を目的とした施設であるため、市が施設を設置維持管理することは妥当である。 |
| 有効性 | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 施設の老朽化に伴い、設備機器の不良が起きているため、貸出制限が必要となっている。今後、大規模修繕を行うか、施設廃止か、いつれかの選択をしていく必要がある。 |
| | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 現在の貸出希望団体は、スポーツ少年団の大会時の救護所のみであるため、廃止しても支障はない。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input checked="" type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 公民館管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 利用希望者があったとしても大和中央公民館・シトラスを代替施設として利用してもらえば、統廃合は可能である。 |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 施設の維持管理に伴う光熱水費・設備維持管理費などの必要最低限の経費で運用しているため削減の余地はない。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 施設の設置目的である65歳以上の高齢者に対する使用料免除規定があり、それ以外の市民が利用する場合でも減免・免除規定があり公正・公平である。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | |
|---|--|
| (1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成30年度6月に条例廃止と建物および外構の除却撤去処分を行い、普通財産へ移管した。 |
| (3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) コスト削減 維持 増加 成果向上 維持 低下 |
| (5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 | |
| (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果 | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|---|
| (1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> C A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 了解済み 確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 |
|--|---|